

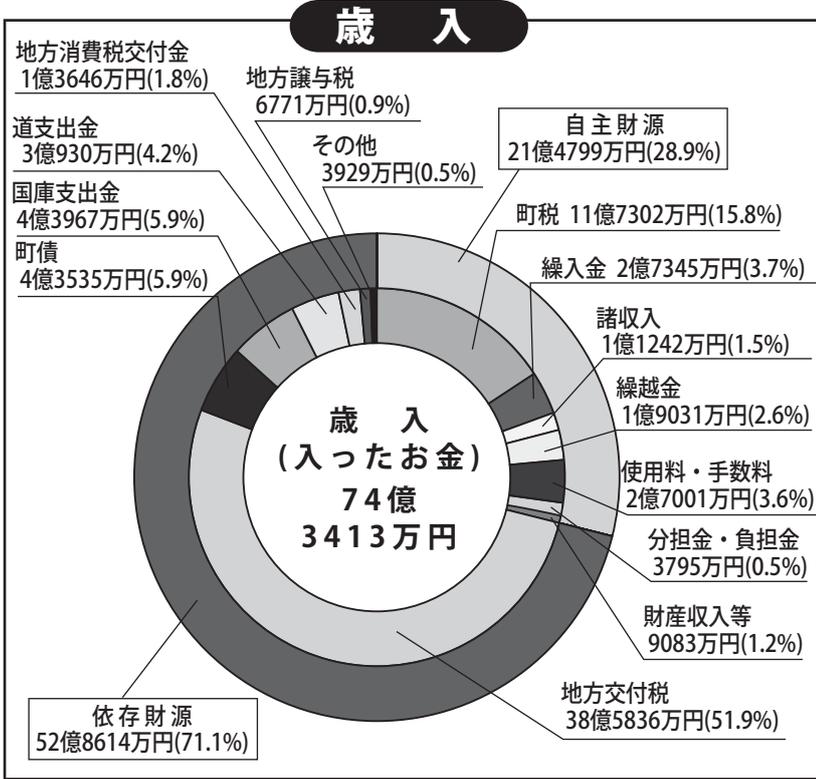
平成26年度 決算の概要

まちの家計簿



問合せ
税務財政課財政グループ
☎74-3003

平成26年度の一般会計・特別会計（国民健康保険、公共水道事業、介護保険、簡易水道事業、後期高齢者）・水道事業会計の決算が9月議会で承認されました。



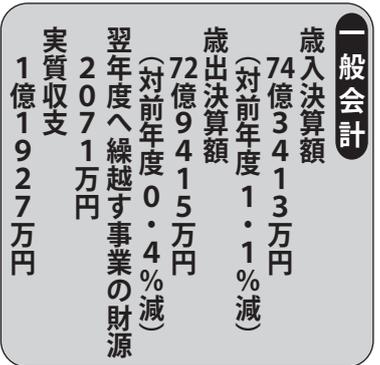
収支の状況

平成26年度の一年間に、町に入ったお金（歳入）74億3

洞 爺湖町の財政状況は依然として厳しい中、限られた財源を有効に活用しながら、水道硬水対策など町民生活に密着した安全・安心につながる各種事業を行いました。

また、健全化判断比率の財政指標である実質公債費比率、将来負担比率が、いずれも前年度より改善し、財政状況は徐々にではありますが、良好な状態に向かっています。

しかし、公債費（借金）が、年々減少しているものの依然として多額で推移しており、町の財政を圧迫している状況にあります。



413万円から使ったお金（歳出）72億9415万円を差引いた額は、1億3998万円が26年度から27年度への繰越事業に必要な額2071万円を差し引くと1億1927万円が実質収支となりました。

●地方交付税は、38億5836万円、2億8085万円の減（前年度比6・8%の減）

市町村に生じる財政力の格差を調整するために国から交付されるのが地方交付税です。歳入全体に占める地方交付税の割合は、26年度決算では51・9%となり、町税収入（町民税や固定資産税など）の15・8%を大きく上回り、町にとっては欠かせない貴重な財源となっていますが、各項目を算定する際の単位費用

の減などにより、前年度比で6・8%の減となりました。

町税をはじめ町が独自に確保できる町の自主財源は、町全体の収入の28・9%であり、残りの財源を国や道からの支出金などが占め、依存財源の割合が71・1%と高くなっています。

●町債（町の借金）残高は、95億2001万円、6億9633万円の減（前年度比6・8%の減）

平成26年度の一般会計では、大磯漁港プレジャーボート施設整備、母と子の館体育館耐震化、虹田中学校校舎棟耐震実施設計などに要する費用をまかなうために4億3535万円の町債の借入れを行いました。

一方、町債の償還額（利子を含む）は、12億7311万円、町債残高は、平成25年度末の102億1634万円から6億9633万円減少し、平成26年度末で95億2001万円となりました。

町債の償還額は、平成21年度末でピークを過ぎたものの、